

投稿年月日	平成 27 年 12 月 28 日	投稿者	有家中学校 3 年生
ご意見・ご提案 内 容	私たち有家中学校 3 年生は、社会科の授業（地方自治）において、「有馬商業高校跡地を観光センターに改築する。」という南島原市の活性化プランを考えました。 まず、観光センターをつくることで雇用が増えます。観光センターでは、地元の特産品や、それを使った商品を販売することで、生産者や加工場（廃校・空家を利用）で働く人々の活動が活発になります。さらに、観光客がそれらの特産品・商品を購入することで、南島原の良さを多くの人に知ってもらえると思います。南島原市の特産品・商品を気に入って下さった方、南島原市を支援しようとする方が増えれば、「ふるさと応援寄付」の増加も見込まれ、このお金を交通整備費に充てることで交通の便が良くなり、南島原市に来る機会が増えるのではないのでしょうか。 観光センターでは、観光案内所やツアー窓口、史料室など、観光客向けのサービスを充実させることで、観光客が立ち寄りやすくなると思います。 また、原城のマスコットキャラクターをつくってはどうか。原城跡は、長崎県が世界遺産への登録を目指す「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」の重要な構成遺産です。デザインは全国から募集し、マスコットキャラクターのグッズを販売すれば、新たな財源の確保やさらなる集客、南島原市の PR につながると思います。 以上、有家中学校 3 年生が考えた南島原市活性化プランです。ご検討、よろしくお願いいたします。		
回 答	この度は、貴重なご意見を頂きまして有り難うございます。 さて、ご存知のとおり、有馬商業高校は平成 19 年 3 月末をもって閉校となり、その後、活用がされないままとなっているところです。 これまで、地域振興を図るためにも所有者である長崎県に対して「県立農業大学校誘致に関する要望書」の提出や検討委員会等を設置し活用案について検討してきましたが、跡地の活用までには至りませんでした。 現在、有馬商業高校跡地の活用策については、市を挙げて目指している、日野江城跡と原城跡の世界遺産登録に関して、駐車場不足が予想されることから、世界遺産関連施設の用地として活用できないか、長崎県と協議を進めているところです。 観光センターに改装するという案も実現できればご意見いただいたような効果が期待できると思いますので、参考にさせていただきます。 マスコットキャラクターについては、すでに南島原市 PR 大使の「ベイガ船長」がテレビ等でも活躍し全国的にも認知度が上がってき		

	ており、原城に関連しては南島原ひまわり観光協会の「ひまわり四郎くん」もいますので、彼らをこれからも活躍させていけるような取り組みができればと思っております。グッズの販売など参考にさせていただきますので、これからもご支援をよろしくお願いいたします。 提案がありました、南島原市の「活性化プラン」につきましては、大変興味深く、また、今後の跡地活用の参考にさせていただきたいと思います。 今後も、本市の地域振興のためにもご意見をいただければ幸いです。 ありがとうございました。
担当課	企画振興課・商工観光課